

# りぼん

新見市男女共同参画情報紙

VOL.4

特集

2007.8

## 理想のパートナーって？





## ● 勤労青少年ホーム運営委員会役員の方々の皆さん

男女11名 (20代~30代)

質問：あなたにとって理想のパートナーは？

- ・一緒にいて気をつかわない人。・自分が出せる人。楽な人。
- ・自然にかかわれる人。・お互いに気が合う人。

質問：パートナーに 싫くない人って？

- ・頑固な人。・わがままな人。
- ・ギャンブル好きや酒癖の悪い人。
- ・人付き合いのできない人。・相手を束縛する人。

質問：日常生活で男女差を感じますか？

- ・男女差は感じないが、若いとか経験がないという理由で自分の能力を正しく評価してくれないことがある。
- ・男の仕事とか女の仕事という感じはあまりない。たとえば、お茶汲みにしても、男女にこだわらず「ありがとう」で済みます。ただし、40代以上の人には抵抗があるかも…。
- ・家庭生活では、育児や家事など分担しながら行うことに抵抗はない。女性も働き続けたいから、当然分担できるパートナーを選ぶ。
- ・料理は自分がするほうがうまくいくと思うから男性にはさせないけど、女だからという理由ではない。



## 感想

男だからとか女だからということで、社会の中での不満がたくさん出るかと思っていましたが、予想に反して、若い人たちには男女がともに支えあう社会をつくるための意識が高まっていました。活発な意見交換をする中で、「先輩たちの子育ての様子などをみてきたから、育児や家事の分担に抵抗はない」という言葉を聞き、周囲の環境で人は育てられると思いました。学校での教育、家庭での教育の重要性を再認識しました。

## ● 新見公立短期大学看護学科3年生の方々の皆さん 男女10名 (20代)

質問：あなたにとって理想のパートナーは？

- ・(男) やさしくて料理ができる人。
- ・(男) 看護師になったら夜勤がある。そういうことを理解してくれて支えてもらえる人。
- ・(女) 働くことに反対しない人。
- ・(女) 料理を作ったり、掃除を一緒にしてくれる人。
- ・(女) 上から押しえつけるのではなくて、対等にしてくれる人。二人で一緒にいろんな事ができる人。

質問：パートナーに 싫くない人って？

- ・(女) 自分のことしか考えていない人。
- ・(女) 休みの日に自分の好きなことばかりして、家のことをしない人。
- ・(女) 言っていることとやっていることが矛盾している人。
- ・(女) 自分が正しいと思って私の意見を尊重してくれない人。
- ・(男) すぐに泣き出す人。何も言えなくなる。話にならない。

質問：男女共同参画社会のイメージは？

- ・男性と女性が協力して一緒にの立場でやっていくこと。
- ・小学校で習った時は、一緒に男女が働くというイメージ。一緒に働く社会。
- ・男の人が多い職業に女性が就いてもいいし、女性のしている仕事に男性が就いてもいい。自由ということ。



## 感想

短大生の年頃で、パートナーを頭に浮かべる時、一番思い描くのは、将来共にどんな人と歩みたいか…ではないでしょうか？理想のパートナーを思い描く中で、男女ともお互い理想とする男女共同参画社会が見え隠れしたような…。



しました。男性・女性にかかわらず、社会の中での理想のパートナーについても意見をいただきました。

## ●ママさんバレーボール哲西クラブの皆さん 女性11名(20代~50代)

質問：あなたにとって理想のパートナーは？

【家庭では】・あまり干渉せず、ある程度自由にさせてくれる人。

- ・家事や育児に協力的な人。
- ・お互いの活動を理解して干渉しない人。家族や夫の理解がないとスポーツなどの活動はできない。

【職場では】・責任を取ってくれる上司。 ・細かい文句を言わない人。

質問：パートナーにしたいくない人って？

【職場では】・自分の立場を守る人。 ・時と場合により話が変わる人。

- 【地域では】・口ばかりで行動が伴わない人。
- ・理屈ばかりで前向きな話がない人。
  - ・話をまぜかえす人。

質問：今度生まれ変わるとしたら男・女？

【男がいい】・変わった立場もいいかも。

- ・男だったら自由にできそう。
- ・家事をしないから楽しいことができそう。
- ・男社会だから。

【女がいい】・弱いときもあるけど、女もいい。

- ・子供はお母さんにつくから。
- ・少々のわがままは許してもらえる。 ・子供を産む喜びがある。

◆その他の意見

- ・地域での集まりには男性が参加することが多いので、役職にも男性が就くことが多い。
- ・最近はお母さんの方も活動的になっているし、以前よりは家から出やすくなった。

### 感想

バレーボールで汗を流し、自分の時間が持てるのは生活の中でとても大切なことだと思います。「以前に比べて外出しやすくなりました。」とか、「家族(子ども)が増えてもいいかな。」という意見も聞かれました。家族が協力して家事などを分担するようになってきたからでしょうか。

これからも、家族や地域の協力で、ママさんたちに色々な活動をしていただきたいと思います。



## ●石蟹地区青壮年の皆さん 男性5名(30代~40代)

質問：あなたにとって理想のパートナーは？

【家庭では】

- ・お互いに見えにくい自分の苦しみ、弱さをわかって助けてくれる人。
- ・空気みたいな人。
- ・間違ったことをした時に、はっきり止めてくれる人。
- ・話すと楽になる人。

【職場では】

- ・信頼関係を持ち、自分のことを少し理解し持ち上げてくれる人。
- ・一つのプロジェクトに向かって一緒になれる人。

質問：男女共同参画社会のイメージ・将来像は？

- ・お茶は、やはり男性より女性に入れてもらうほうがおいしい気がする。
- ・これからは、女性が子供を産んで安心して働ける社会にならないといけないので、その仕組み作りが必要。
- ・子育ても、育児休業も、夫婦がお互いに話し合いをすればどちらがやっても良い。

### 感想

働き盛りの30代、40代男性へのインタビューを行いました。

世代交代の時期を迎え、父親から家のことや農業などを教わっているところで、父親を人生の先輩、師、時には良きパートナーとして、家庭を守る姿が見えました。

皆さんにとって家庭は、仕事で疲れた体と心を癒し、エネルギーを充電する場所になっていると感じました。





# 啓発ビデオのご案内



## 『ワーク・ライフ・バランス』

～働きがいのある職場と生き生きとした暮らし～

2007年 内閣府男女共同参画局



ワーク・ライフ・バランスとは、多様化する生活スタイルや働き方に対する新たな取り組みです。仕事と生活の調和を図るためにワーク・ライフ・バランスを推進する、組織や個人の取り組みを紹介します。

## 『大助・花子の男・女どっちが得？』

2003年 滋賀県立男女共同参画センター



男だから、女だから、そんな固定観念の垣根を取り払って、一人の人間としていきいき生きることのできる社会、それが男女共同参画社会です。日々の暮らしの中で「変だな」「おかしいな」と感じたり、気づいたりすることから見つめ直してみましょう。当たり前と見過ごしていることの中に、性別を理由とした不合理な取り扱いや、固定的な見方が潜んでいることがあります。楽しみながら、暮らしの中にある問題点について考えてみましょう。

## 女社長・男社長？

通勤途中

太郎の友人  
ヒロシ

仕事どう？

太郎

今度の女社長  
なかなかの  
やり手だね。

女社長って言葉  
おかしくないか？

エッ？なんで？  
女の社長  
だから女社長で  
いいんじゃない？

女社長

男社長？

でも、  
男社長とは  
言わないだろ？

そうか！  
社長といえば男性と  
思いこんでいるから  
女社長って言葉に  
なるんだね。

そうだね。

性別が明示されなければ、当然男性であるという思い込みはありませんか？

## 編集後記

りぼんの編集に関わるようになり、「男女共同参画」について日々学び・考えさせられています。取材を通して、多くの人たちの思いや考え方を聞いてみると、世代によって捉え方や考え方が違ってきているように感じました。

昔は二世帯・三世帯同居が普通で、「男性は仕事・女性は家庭」という感じでほとんど男性が家事をすることはなかったと思います。しかし、現在は少子化・核家族化が進み、夫婦で協力しないと一人の負担が大きくなります。

昔が今がと言っても仕方ありません。お互いが相手のことを思いやり、できることを1つ手助けすることでうまくいくのではないのでしょうか。

家庭でも社会でも男性・女性一人ひとりの個性を活かし、協調しあうことが大切ではないかと感じました。